

認知症サポーター新聞

「認知症」行方不明者が
1.9万人と過去最多！

認知症の行方不明者の統計は2012年から開始されており毎年増加しています。2023年の情報が7月4日に発表されています。警察へ届け出があった認知症の行方不明者は1万9039人だったとのことで統計開始以降で最も多くなりました。

認知症の推計値では2025年480万人、2040年には約600万人になると予測されています。これは高齢者の6人から7人に1人が認知症を発症していることを意味します。一方で今年の5月8日に発表された内容では、認知症の発症者数は2012年の推計値か

ら減少していることがわかりました。専門家の間では、健康意識の高まりで生活習慣病管理の改善、喫煙率の低下など軽度認知障害(MCI)から認知症への進展が抑制された好ましい可能性があるとの声が上がっています。

認知症行方不明者の増加は高齢化社会において避けられない現象ではあるものの、家族や地域社会のサポート体制を強化する必要性を改めて認識させられます。

「脳の健康度」
測ってみませんか？

秋田大学高齢者医療先端研究センターでは、厚生労働省の支援のもと、脳機能の衰えを

【発行】
泉地域包括
支援センター
リンデンバウム
Tel 896-5960
Fax 864-3006

早期に発見するための体制作りを進めています。この度オンラインで「脳の健康チェック」を受けられる仕組みができました。誰でも無料でご利用できます。国立長寿医療研究センターと共同で開発したのですが、認知症の早期発見・早期治療を推進する内容となっております。隣のQRコードを読み取りチャレンジしてみてください！年齢を問わず何回もできます。



今年もリーフレット配布を
行いました！

令和6年8月14日（秋田中央警察署と連携し、イオン秋田中央店にて防犯や詐欺被害への注意喚起のチラシと、地域包括支援センターのパンフレットをお配りしました。今後も高齢者の安心・安全を守る活動を行ってまいりますので宜しくお願い致します。

